

競技上の注意

- ①競技は、(公財)日本ソフトテニス連盟の「ソフトテニスハンドブック」と今大会の「競技要項」、及び以下の確認事項によって行う。
- ②コート割り及び進行プログラムは別紙の通りとするが、試合進行等によっては変更することがあるので、本部からの放送には十分注意すること。
- ③マッチは、ダブルスは7回ゲーム、シングルスは5回ゲームとする。
- ④マッチの開始前の練習は1分以内とする。
- ⑤アンパイヤーの判定に対する異議の申し立ては認めない。アンパイヤーの判定について疑問がある場合は、プレーヤーが質問を行うことができる。アンパイヤーの指示に従わない場合は、警告を与える。
- ⑥ベンチは番号の小さいほうを南側とする。
- ⑦試合中のコーチングは行わない。試合中以外でのコーチングは認めるが、試合進行に支障がないようにすること。
- ⑧プレーヤーはお互いにマナーを尊重し、過度のかけ声または相手を不快にする態度・発声をしないこと。
- ⑨プレーヤーはアンパイヤーの指示に従い、マッチの開始から終了まで連続的にプレーすること。遅延行為については、警告を与えることがある。
- ⑩フェンス外からの助言、アドバイスは行わないこと。

選考について

- ① 今回の強化練習会出場の男女各24名の選手から「令和6年度都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会」に参加する8名を選出するものとする。なお、選考基準は以下のものとする。

都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会

山形県代表選手 選考基準

1. 基本方針

当該年度の都道府県選抜大会での上位入賞を目指して、山形県のトップ強化を図ること

2. 選考基準

次の選考基準のいずれかを満たした男女各8名を都道府県対抗大会の代表選手とする。

1. 1、2年生のみで全中大会に個人出場した選手

- 最終選考会で1日目のシングルのトーナメントの結果で2名 ← (トーナメント2つ)
- 最終選考会で2日目のダブルスのトーナメントの結果で1ペア (2名)
ただし、シングルスで選出された選手もダブルスに出場する。
- 最終選考会に参加した選手の中で、選考会の結果や試合内容を受けて選考委員から推薦された選手 (男女各4名程度)
※シングルスで選出された選手とダブルスで選出された選手が重複する場合には、推薦の選手が増える。

※1の条件を最優先とする。なお、該当選手が転校してきた場合も適用する。

※選考にあたっては、テニスの技術のみならず、県代表としてふさわしい行動がとれることも選考基準に入れて選考する。

- ② 推薦選手(男女各4名程度)については後日県連HPに掲載する。

- ③ 選抜選手に選ばれた選手は後日結団式を行う。(日時・会場未定)

- ④ 令和6年度山形県強化スタッフについては、山形県ソフトテニス連盟強化委員会で決定します。本年度全県的な立場に立って、選手強化に力量を発揮して頂くようお願いされた方々です。都道府県選抜大会まで、変更追加されることもあります。